

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 いんくるーじょん東淀川事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準を満たしている	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準を満たし、特性に応じた職員配置をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		洗面所やトイレに手すりを設置。事業所内に段差無し。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			業務改善のためにPDCAサイクルに参画していただいている。併せて研修等で周知徹底している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表の活用やアンケート調査により保護者からの意向を把握するように努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自社ホームページ上で公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は行っておらず、自己評価表にて業務改善を行っている。自己評価は業務改善に役立っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		大阪府下の研修に参加	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			定期的にモニタリングをしてリアセスメントを行い都度計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		大阪市の標準アセスメントシートを使用	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			1か月単位で計画を立案。定期的に見直している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節に合わせたプログラム等を提供している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			分単位でスケジュールを設定して細やかな支援の提供を心がけている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日朝礼を行い、支援の統一化を図っている。日々、記録を取り支援のアップデートを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎日、支援終了後打ち合わせ、支援の統一化を図っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を取る事は徹底している。また、朝礼等で支援の統一、ディスカッションを行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的なモニタリングは実行している。また、計画の変更は随時行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			相談事業所と連携し、必要なサビ担を行っている。基本的には管理者や児発管が出席を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校や相談支援事業所が主催するケース会議等に参加している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			医療的ケアを必要とする利用者が不在。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			放デイをご利用する前に情報収集、周知を行っている。情報が少ない場合、積極的に収集を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		個人情報の取り扱いに基づいて、適切な情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			情報共有は行っている。具体的には子供部会への出席、外部研修への参加。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			現在は行っていない、次年度は積極的に交流を図る事を検討中。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			地域のお祭りに参加した実績あり。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノート等のコミュニケーションツールを活用して共通の理解、認識を持っている	送迎の際に保護者と積極的にコミュニケーションを取っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	御家庭での適正な過ごし方についてのアドバイス等を随時行っている	専門的なベアトレは専門的な機関をご紹介します
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に必要書類と一緒に読みながら都度ご理解をいただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			機会を持っている。事業所のみで判断が難しい時は随時、相談支援事業所等、社会資源を利用している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		クリスマス会等、イベントを通じて保護者様と交流の場を設けている	父母の会は結成されていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応窓口を設けている。苦情があった場合迅速医対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月一回通信を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		同意書をいただいております、順守しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		法律など伝える事が難しい言葉等はわかりやすく伝える配慮を行っている。	契約書等はルビを振った物や拡大版を用意している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コミュニケーションに配慮しています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員、保護者へ随時周知を行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待の研修会に職員は出席、内部研修も行っていきます。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時にやむを得ず身体拘束をする場合を重要事項に沿って説明。個別支援計画にも明記している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者を通じて医師の指示書に基づく対応をしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		起こった時は速やかにヒヤリハットを作成。周知徹底を図っている。	